

2026 年 10 月 14 日
株式会社まほろば工房
SymphonyCall サポートセンター

機能強化のお知らせ

平素より SymphonyCall をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

この度、SymphonyCall において、メールサーバを STARTTLS に対応させる予定であることをお知らせいたします。

今回の対応により、送信元メールサーバが STARTTLS を利用してメールを送信する場合、SymphonyCall のメールサーバが暗号化通信に対応できるようになります。

[対応予定日]

2026 年 11 月 18 日

■機能強化の背景

SymphonyCall は、外部システムや監視機器などから送信されるメールを通知トリガーとして、自動的に通知を行うことができます。

通知トリガーとなるメールの本文には、API パスワードや個人情報が含まれている場合があるため、これらの情報を通信経路上で保護することが重要です。

そこで、メールサーバ間の通信を暗号化してセキュリティを強化するため、SymphonyCall のメール受信サーバを STARTTLS に対応いたします。

■STARTTLS への対応内容

STARTTLS は、メールサーバ間の通信を TLS によって暗号化する仕組みです。

外部のメールサーバと SymphonyCall のメール受信サーバの双方が STARTTLS に対応している場合、暗号化された通信を利用できるようになります。

これにより、外部システムから SymphonyCall へ送受信されるメールについて、通信経路上でのセキュリティを強化します。

※送信元メールサーバが STARTTLS 非対応の場合は、 従来通り暗号化されていない通信でメールを受信します。

■お客様への影響とご案内

お客様による SymphonyCall の設定変更は原則として必要ありません。

ただし、送信元メールサーバが使用する TLS のバージョンや設定によっては、SymphonyCall でメールを受信できず、メール連携による通知が行われなくなる可能性があります。

このような場合に備え、暫定的に STARTTLS 非対応環境向けの受信用メールアドレスをご用意しますので、ご利用の際はメール連携時の送信先メールアドレスの変更をお願いいたします。

推奨する TLS のバージョンや、STARTTLS 非対応環境向けの受信用メールアドレスなど、ご利用中のお客様向けの詳細な技術情報については、SymphonyCall 管理画面のお知らせをご確認ください。

この機会に、お客様におかれましても、メールサーバの STARTTLS 対応または TLS バージョンのご確認・更新をご検討くださいますようお願いいたします。